

4・3・2・1年生・大学院生諸君！ラストスパートの時期だよ。

いよいよ3月です。既に2月19日より面接講習、個人面接練習、集団討論練習が始まっています。この後には模擬授業があります。これを終えると4月。4月からは教員採用選考への準備も終盤戦に入ります。これまでの論文練習、筆記試験の準備、面接関係の練習などをまとめ、本番で実力を発揮できるよう整理する時期です。論文については、当日までに合格ラインに到達できるよう計画的に指導しています。このまま論文添削を続けましょう。面接については、6月～7月に改めて練習するので、今の時点で完成させましょう。教育法規と学習指導要領については、既に講習をしました。

ぐで気になるのは、筆記試験対策です。各自で進めていることと思います。終盤戦に向けて勉強を工夫し、効果を上げるための「筆記試験攻略法」を今月の特集としました。詳しくは、裏面をご覧ください。筆記試験は、1次試験の要です。いくら論文を練習しても筆記試験の出来が悪ければ、1次試験合格は難しくなります。神奈川県などは1次試験で論文を書かせるのに、論文は採点されるのは筆記試験で合格した人だけです。筆記試験は教職教養、専門教養、一般教養など、覚えることが多くて嫌になってしまいます。日本中の教員志望者が同じ気持ちで頑張っています。決して弱気にならずに一つ一つ仕上げていきましょう！！

【最近実施した行事とこれから実施する行事】**1 「論文個別添削」★メールも可。**

11月15日の「合格論文書き方講習」を受講した諸君を対象に毎日行っています。

2 「面接試験講習会」★面接攻略法に関する講習で、二日間とも同じ内容です。

2月19日(月)、20日(火) 13:30～15:00 会場はW205

3 「個人面接練習」★1日3回。1回90分間。一人当たり3回実施。

2月21日(水)、26日(月)、27日(火)、28日(水)。

3月5日(月)、6日(火)、7日(水)、12日(月)、13日(火)、14日(水) 会場は談話室

4 「集団討論練習」★1日3回。1回90分間。一人当たり2回実施。

3月19日(月)、20日(火) 会場はW205

5 「模擬授業」★1日3回。1回90分間。一人当たり2回実施。

3月26日(月)、28日(水)、4月2日(月)、3日(火) 会場はW205

**【今年度の相談指導実績】****1 【相談件数】4月から2月12日まで**

延人数：4年生 659、大学院生 21、3年生 315、2年生 6、1年生 29、卒業生 12 計 1,042 人

実人数：4年生 22、大学院生 2、3年生 24、卒業生 4 計 52 人 (全員が論文・面接指導等)

★この延人数は、昨年(522人)の2倍です。一人平均20回の来室です。みんなよく頑張りました。

2 【添削論文枚数】(前・後期それぞれ「合格論文の書き方講習」終了後から添削開始)

(前期) 4/25から9/30まで 延 219 枚、(後期) 11/15から2/12まで 延 84 枚 計 303 枚

★平成30年度の教員採用選考受験生は論文練習のスタートが早かったため、1月までにはほぼ全員が合格ラインに達するでしょう。期待しています！目標一人当たり20枚以上！最高記録は36枚。

【4月からの相談指導日程・時程変更】 ←要注意！

4月から田神指導員の出勤日が「月・火・金」、開室時間が「9:30～17:30」になります。ヨロシク。

【数学コーナー】今回は、外国の数字の読み方です。特徴的な部分だけを書きます。

【ドイツ語】・21 : eins und zwanzig (アインス ウント ツヴァンツィッヒ) 2桁の数は、1の位を先に読む。

・321 : drei hundert eins und zwanzig (ドライ フンダート アインス ウント ツヴァンツィッヒ)

【フランス語】・21 : vingt et un (ヴァンテナン) 20 (vingt) + (et) 1 (un) という発音。

・70 : soixante-dix (ソワサンティス) 60と10を続けて発音する。つまり、70という単語がない！

・71~79 : 「60・11」60と11を続けて発音。～「60・19」60と19を続けて発音。

・80 : quatre-vingts (クァトゥルヴァン) 4 (quatre)と20 (vingt)を続けて発音すると80になる！

・81~99 : 「4・20・1」～「4・20・19」という発音。つまり、4・20・19と続けて発音されたら、頭の中で、 $4 \times 20 + 19 = 99$ という計算をして99だと理解しないといけないわけ。もっと細かく言えば、19はdix-neuf(10・9)だから、 $4 \times 20 + 10 + 9 = 99$ ということ。現代数学が一番進んでいる国がフランスだっていう理由が何となく分かる気がするね。フランスで買い物をする時、これらの数字を聞き取らなくてはならないのデス。とっても大変。(経験者は語る)

《筆記試験攻略法》

(1) 友達と学び合おう！ - 一人でコツコツと勉強するだけでは不十分 -

これからの教員に求められているのは、チームワーク力です。だから、集団討論や場面指導の試験がある。したがって、勉強するときも一人でこもってするのではなく、友達や仲間と教え合いながら勉強すると合格率がグッと上がります！同じ学科でなくても構いません。相談室に来た仲間でもいいですよ。

(2) WCや風呂を活用しよう！ - 小さな時間を無駄にしない -

教職教養や一般教養など、筆記試験では暗記することが多いです。暗記するときには、WCや風呂を活用しよう！TVのコマーシャルを覚えている人は多いでしょう。でも、誰も暗記しようとは思っていません。つまり、何度も目に触れ、耳で聞いているうちに覚えてしまったのです。そこで、覚えるべき教育法規や教育心理の人物などを紙に書いて、WC内の目に付く所に貼っておこう。それほど意識しなくても自然に覚えてしまうでしょう。覚えたら次の紙を貼ります。こうして覚えると、試験当日、その単語がWCのどの辺に貼ってあったかということ思い出せます。風呂も同じです。最近の水に強い紙が出ています。風呂に入るときに、目に付く場所に貼っておきましょう。ただし、くれぐれものほせないように。

(3) 問題集は同じものを3回解こう！ - これから新しい問題集に飛び付かないこと -

専門教養などは、過去問や問題集を解くことで力が付きます。ただし、あれもこれもと何冊も手を出さないこと。やり残して自信をなくすだけです。1冊を3回解いてください。問題を解いた後には必ず印を付けます。印とは、「解答できた問題はA、解説を読んで分かったらB、分らなかったらC」です。1回目は、超スピードで全ての単元を解答します。時間がかかりそうなら、奇数番号の問題だけでも構いません。粗くても全ての単元を終えることが大切です。なにも1ページから始める必要はありません。得意なページから次々と進めていってください。大切なことは、勉強した足跡を残しておくことです。計算用紙もメモ用紙も全部綴じておいてください。それらが溜まっていくと自信になります。2回目には、Aの印を付けた問題は解きません。解くのはBとCの問題だけです。2回目も、解いた後には印を付けます。BがAに、CがBになるのが目的です。3回目も同様です。Aが付いたら解かない。つまり、回数が増えるにつれて問題数が少なくなっていくのです。これで3回終われば、相当実力が上がっています。最後までCが付いた問題ははどうするか？「最後までCの付いた問題は、本番で出ない！」と念力をかける。そんな問題に振り回されてはいけません。おっと、もう一つ要注意。数学や理科の問題など、1つの問題に20分以上時間をかけないこと！試験当日は、スピードも求められます。20分経ったら解くのはやめて、さっさと解説を読んでしまいましょう。1つの数学の問題を1時間近くかけて解いて、問題集が終わらないという失敗が極めて多いです。私も、これで失敗しました。要注意です。

(4) 模試を生かそう！ - 模試は最も効果的な学習機会。ただし、受けっぱなしは禁物 -

模試は、本番に最も近い勉強の機会。どんどん受けよう。でも、受けっぱなしではなく、模試ノートを作ってきちんと反省しておこう。

★ 諸君の全員合格を期待しています！

